

思い出の

	クラス
優勝	1年2組
2位	1年1組
3位	2年1組

1/10	火	第3学期 始業式
11	水	早朝補習開始 (1, 2年)
14, 15	土日	大学入試センター試験
26	木	3年学年末考査 (~ 3 1 日)
2 / 4	土	開校記念日
8	水	防犯教室
23	木	1・2年学年末考査 (~ 2 8 日)
3 / 1	木	卒業証書授与式
21	水	校内競技大会
23	金	終業式・離任式

十一月二日（水）、雲仙市小浜町で平成二十三年度長崎県高等学校総合体育大会駅伝競技が開催されました。

35位
記録

2時間34分36秒
(参加46校中)

大会成績

出場選手

村木健伸(2年1組)
鷺池一磨(3年1組)
川中勝太(3年1組)
窄中裕喜(3年1組)
岩本宏介(1年1組)
葛島克己(1年2組)

応援ありがとつございました。

フードデザイン授業の一環として、三年一組でテーブルマナーの練習を行いました。生徒は自分たちが作った料理を、食べる側と給仕する側に分かれて二交代制で、それぞれを体験しました。着席・退席の仕方、ナプキンの使い方、料理の食べ方などの盛り沢山の内容でした。とても良い経験になったようです。



「一年から
主任 本田総一郎
早いもので、今年も残り
わずかとなりました。先日は二年生合同での修学旅行を実施しました。普段奈留島では体験できないことを集団で取り組みました。特に、自主研修では、京都の歴史にふれると共に、「時間の大切さ」、「コミュニケーション能力の大切さ」、「トラブルの対処方法」など様々なことを学ぶことができました。計画通りか、走り回った班もあったようです。しかし、これは生徒達にとってすばらしい体験だと感じました。

「備えあれば憂いなし」と言います。計画を立てることも、全てがうまくいくとは限りません。計画を立てることは非常に大切ですが、うまくいかない時に臨機応変に行動できる人になって欲しいと思います。

冬季休業中は、ダラダラと過ごすのではなく、家族の一員として手伝いをさせてください。また、来年の目標をしつかり立て、自己実現に向けて努力して欲しいと思います。

今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

主任 高木理砂

今年も残りわずかとなりましたが、今年の目標は達成できましたか。来年は進路を決定する大切な年となります。しっかりととした目標を立てて努力してほしいと思います。

私は、目標を立ててそれに向かってまっしぐらに頑張ることが好きです。絶対に達成するまで諦めたくはないと思って取り組んでいます。今の自分があるのは、その気持ちがあったからかも知れません。幼稚園から大学まで無欠席を貫いたことも物理の教員になれたことも強い気持ちというより、執念、意地

主任 中川卓也

平成二十三年もいよいよ押し詰まってまいりました。この一年間を振り返ると、生徒は、学校のリーダーとして、あらゆる場面で先頭に立ち、活躍してくれたと思います。また、自分の進路実現のために面接練習・受験勉強に励みました。その結果、保護者の皆様のご協力もあり、悪戦苦闘しながらも、進路を決定することができています。そして今から、センター試験の受験者は最後の追い込みにかかります。受験者は早朝から夜遅くまで一生懸命勉強に励んでいます。進路が決定した人たちも、仲間の受験を後押しする前向きな学校生活を送ってくれることを期待しています。そして三月には、それぞれが自信を持って希望の進路先に旅立つことを切に願っています。最後になりましたが、保護者の皆さまにお願いがございます。冬休みを含め、残された学校生活の過ごし方がお子様の今後にとって大きな意味をもつてまいります。生活態度、学習への取り組みなど、最後まで気を抜くことなく過ごすよう、ご家庭でもご指導くだされば幸いです。来年が皆様にとって良い年になりますようお願い申し上げます。

カナダのクリスマス
私の家族にとってクリスマスはとても特別な日です。11月から家をイルミネーションやクリスマスリース、ツリーで飾り始めます。

家の外側にもイルミネーションを飾るので夜はともきれいです。クリスマスイブには、プレゼントをお互いに開け、クリスマスの映画を見ます。クリスマスの朝には家族全員でプレゼントを開け、お母さんが豪華な朝食を作ってくれます。親戚の家にも行って、夜は豪華なディナーを食べます。クリスマスはとても楽しく嬉しい日ですが、家族や親友と過ごせるので、1年中で一番大好きな日です。

校長 小林 勝

「郷土の探訪」
松村 祥吾

奈留島に來てのこの半年、氣付けばあつという間に過ぎている。新鮮な出会い、体験や風景が様々だ。先ず一番の変化は釣りが好きになつた。陸の上からイカを釣つた。エギングという・技術が着いて来ないので運まかせ、というのもまた面白い。考え、狙いが当たつた時なんかは嬉しいもので、時間があれば防波堤で竿を振り回して。昔は餌の臭いさえ苦手で、釣果もペラや金魚（念仏鯛？）等がほとんどで、魚釣りを面白とは思わなかつた。五島名産のカンコロ餅、島を離れている間も何故か毎年のように食べていた。今年は幸い、芋掘りから、干して出来るがまでの一連の作業を見る事が出来た。こんなに手間暇がかかるとは知らなかつた。知ろうとしなかつた。私は虫が大の苦手だったので、畑や山に入るこそすら避けていたように思う。もったいない。歳のせいなのか、価値観が変わつたのか、環境の変化に戸惑うことはありながらも、やはり、素晴らしい自然と、温かい方々に恵まれてゆつくりと充実した時間が流れている。